ファーストスプーン作り

香美市在住の妊婦や乳幼児の保護者を対象に、子育てセンターなかよし、子育てセンターぴらふ、大栃保育園で、市産材を使ったファーストスプーン作りが行われました。このイベントには、「緑の募金」が活用されており、小さい頃から木に触れて自然を大切にしてほしいという思いから実施されています。

スプーンの形に切り抜かれた木の中から好きな樹種を選び、紙やすりなどで形を整えていき、最後に食用油でコーティングして完成です。

会場には託児スペースがあり、日ごろ子育てに励む皆さんも、育児から離れ、２時間集中して作っていました。大栃保育園では、スプーンを作っている保護者のすぐ隣で、園児を対象とした木工体験が実施され、木の葉やドングリ、木材などと、木からできた「木粉ねんど」を組み合わせ、思い思いの作品を作っていました。

参加者の皆さんは、我が子のことを考えながら使いやすい形になるように一生懸命作っていて、木の心地よさや自然の大切さ、お子さんへのたくさんの愛情が感じられるイベントとなりました。

香美市民憲章 ―平成24年4月1日制定―

前文　私たちの香美市は、美しく、豊かな自然に育まれています。
先人が築き上げた尊い文化や伝統を受け継ぎ、人々が愛と勇気を心に持ち、誰もが幸せを感じられるまちを目指し、ここに市民憲章を定めます。

本文
1、豊かな自然を守り、美しいふるさとを未来に届けましょう。
1、互いに思いやり、ささえあう、心安らぐまちにしましょう。
1、歴史に学び、伝統を守り、高め、文化の香りあふれるまちにしましょう。
1、子どもたちの笑い声は宝物、みんなで見守り育てましょう。
1、感謝の気持ちを大切に、元気で働き、仲よく住みよいまちにしましょう。

ファミリースポーツフェスティバル開催！

１１月１１日に土佐山田スタジアムで、第１４回香美市ファミリースポーツフェスティバルが開催されました。

当日は天気にも恵まれ、スポーツ推進委員などの指導により、約２５０名の参加者がモルックやボッチャ、フライングディスク、マウンド体験などのスポーツに汗を流しました。家族で楽しんだ方も多く、「普段接する機会のないスポーツを体験できて良かった」などの声が聞かれました。

物部町火鎮祭相撲大会

１１月３日、第６３回香美市物部町火鎮祭相撲大会が、大栃の八王子宮相撲場で４年ぶりに開催されました。

この大会は、昭和３２年に大栃地区で発生した大火災を教訓に、二度と火災を発生させないように祈願する目的で始められたもので、今年は１６チーム５５名が参加し、熱戦を繰り広げました。

大会結果

【団体戦】	【個人戦】
優　勝　南国署A	第１位　今上 真一（香南消防）
準優勝　警察学校B	第２位　依光 秀（香南消防）
第３位　鏡野中	第３位　広瀬 龍樹（林業P）

【技能賞】	【敢闘賞】
奥村 隆斗（消防香北分署）	久保 将吾（鏡野中）

香北中１年生　体験授業

１１月２８日に、香北中学校１年生が、地域の専門職の方のご厚意により、町内にある木材加工場で体験授業を行いました。

香南市の第２８番札所大日寺の鐘楼堂の新設にあたって、その柱となる材木に槍鉋（やりがんな）をかけていくという作業です。槍鉋は弥生時代には使われていたとされる伝統的な大工道具の一つで、生徒はもちろん、引率の先生たちも初めて見るものでした。

専門職の方から、大日寺の建物や工事の様子などについてモニターを見ながら説明を受けた後、槍鉋のかけ方を実演してもらい、専門職の方と一緒になって作業を行いました。生徒は慣れない道具に苦戦していましたが、徐々に慣れていき、交代しながら積極的に、そして真剣に作業に取り組む姿がとても印象的でした。

今回の作業で削った柱は、およそ２００年の耐性が見込まれているものだそうで、そのような建築物の作業工程に関われたことは、生徒にとって非常に貴重な体験になったと思います。「鉋をうまくつかえなかった」「技術の時間に初めての体験をして、難しかったけど楽しかった」などの感想が、翌日の日誌に書かれていました。

子どもの育成に喜んで関わってくださる方がいることは、地域の誇りであると思います。そんな方々の思いを汲みながら、強く、たくましく、大きく成長していってほしいものです。

（香北中学校 校長　坂下 佳総）